

## アビゲイル先生、リンジー先生退任あいさつ

アビゲイル・アン・エドワーズさん

**7** 月31日をもって外国語指導助手を退任します。自然豊かな白糠町での9カ月間は、私の人生でとても幸せな時間でした。

私は、茶路小中学校で子どもたちからたくさんの感動と喜びをもらうことができました。授業では英語を好きになってもらえるように、アビタイムをつくって、ゲームなどを行いました。昼休みには、汗だくになって鬼ごっこやドッジボールをして、子どもたちと楽しい時間を過ごしました。コロナのため、町のイベントには参加できませんでしたが、私が白糠町ですばらしい日々を過ごすことができたのも、町民の皆さんが、温かい気持ちで見守ってくださったおかげです。白糠町を離れるのはとても残念ですが、もう少し日本にいて、日本のすばらしいところを見ていきたいと思っています。できれば、ここで学んだことを生かして、今後も道東の地域で働くことができれば、最高に幸せです。

最後になりますが、子どもたちをはじめ、町民皆さんの健康と幸せを願っています。

本当にありがとうございました。



1) 茶路中学校の1年生の對木<sup>ゆあ</sup>佑郁さんと工藤<sup>こうき</sup>光稀さんと一緒に撮影。2) 授業ではカードゲームを使って英語を学習しました。カードゲームを使うことで、瞬時に英語で反応できるようになります。3) 保護者や地域の方々も参加した今年の茶路小中学校の運動会の様子。私も一生懸命に走りました。



1) 庶路学園の児童たちと一緒に撮影。2) 昨年12月に行われた庶路こども園での「もちつき会」です。実際に「もちつき」をさせていただきました。日本の文化にもたくさん触れることができました。3) 英語の授業の様子です。たくさん思い出が詰まった白糠での日々を一生忘れません。

ロジャーズ・リンジー・マリコさん

**8** 月4日をもって外国語指導助手の任期を終え、アメリカに帰ります。

3年間白糠町に住み、生活に慣れてきたところだったので、とても名残惜しいです。白糠町での生活は、すばらしい思い出ばかりで、語り尽くせません。

私は、主に庶路学園と庶路こども園で授業をしてきました。子どもたちが笑顔いっぱい英語であいさつしてくれたことが、とても印象に残っています。庶路学園の先生から「子どもたちが『今日、リンジー先生は来ますか?』と毎日のように聞いてくるんだよ」と聞かされたときは、うれしさに胸がいっぱいになりました。子どもたちと勉強したり、遊んだりした時がとても楽しくて幸せでした。

白糠町の皆さんには、本当にお世話になりました。皆さんのおかげでたくさん学ぶことができました。私は、アメリカに帰国しますが、これまで学んだことを生かしてさらに努力し、成長した姿をどこかで見せられるように頑張っていきます。

3年間、本当にありがとうございました。